

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 23 日 (2021.12.23)

【公表番号】特表 2021-503010 (P2021-503010A)

【公表日】令和 3 年 2 月 4 日 (2021.2.4)

【年通号数】公開・登録公報 2021-005

【出願番号】特願 2020-544727 (P2020-544727)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/41 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/41

A 6 1 P 25/08

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 12 日 (2021.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

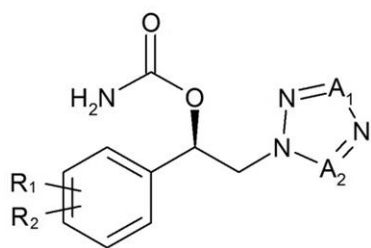
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

治療有効量の下記式 (1)

【化 1】



(1)

(式中、R₁ 及び R₂ が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン、C₁ - C₈ アルキル、ハロ C₁ - C₈ アルキル、C₁ - C₈ チオアルコキシ及び C₁ - C₈ アルコキシからなる群から選ばれ、A₁ 及び A₂ の一方は C H であり、他方は N である。) で示されるカルバメート化合物、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物を含む、欠神発作又は欠神発作を示すてんかんの予防、軽減又は治療のための医薬。

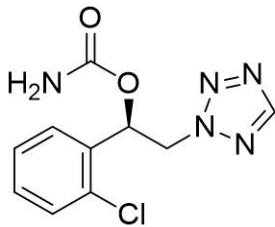
【請求項 2】

R₁ 及び R₂ が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン及び C₁ - C₈ アルキルからなる群から選ばれることを特徴とする請求項 1 に記載の医薬。

【請求項 3】

式 (1) のカルバメート化合物が、下記式 (2)

【化 2】



(2)

で示されるカルバミン酸 (R) - 1 - (2 - クロロフェニル) - 2 - テトラゾール - 2 - イル) エチルエステルであることを特徴とする請求項 1 に記載の医薬。

【請求項 4】

欠神発作又は欠神発作を示すてんかんを患っている対象が、脳波記録 (EEG) において、棘・徐波発射 (SWD) を示すことを特徴とする請求項 1 に記載の医薬。

【請求項 5】

欠神発作を示すてんかんが、小児欠神てんかん、ミオクロニー欠神てんかん、若年性欠神てんかん、若年性ミオクロヌステんかん、ジーボンス症候群 (欠神を伴う眼瞼ミオクロニー)、ファントム欠神を伴う遺伝性全般てんかん、及びレノックス・ガストー症候群からなる群から選ばれることを特徴とする請求項 1 に記載の医薬。

【請求項 6】

欠神発作が、定型欠神発作であることを特徴とする医薬。

【請求項 7】

欠神発作が、非定型欠神発作であることを特徴とする請求項 1 に記載の医薬。

【請求項 8】

哺乳動物投与用に製造されることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の医薬。

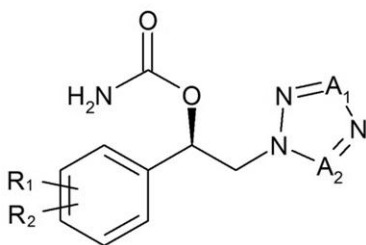
【請求項 9】

式 (1) のカルバメート化合物の治療有効量が、遊離形で 1 日 1 回の投与に基づいて、50 mg ~ 500 mg であることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 10】

治療有効量の下記式 (1)

【化 3】



(1)

(式中、 R_1 及び R_2 が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン、 $C_1 - C_8$ アルキル、ハロ $C_1 - C_8$ アルキル、 $C_1 - C_8$ チオアルコキシ及び $C_1 - C_8$ アルコキシからなる群から選ばれ、 A_1 及び A_2 の一方は CH であり、他方は N である。) で示されるカルバメート化合物、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物を含み、さらに薬学的に許容される担体を 1 種以上含む、欠神発作又は欠神発作を示すてんかんの予防、軽減又は治療のための医薬組成物。

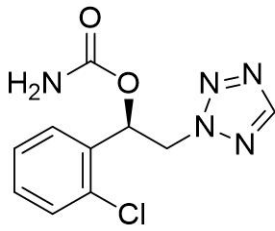
【請求項 11】

R_1 及び R_2 が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン及び $C_1 - C_8$ アルキルからなる群から選ばれることを特徴とする請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

式(1)のカルバメート化合物が、下記式(2)

【化4】



(2)

で示されるカルバミン酸(R)-1-(2-クロロフェニル)-2-テトラゾール-2-イル)エチルエステルであることを特徴とする請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項13】

欠神発作又は欠神発作を示すてんかんを患っている対象が、脳波記録(EEG)において、棘・徐波発射(SWD)を示すことを特徴とする請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項14】

欠神発作を示すてんかんが、小児欠神てんかん、ミオクロニー欠神てんかん、若年性欠神てんかん、若年性ミオクローヌステんかん、ジーボンス症候群(欠神を伴う眼瞼ミオクロニー)、ファントム欠神を伴う遺伝性全般てんかん、及びレノックス・ガストー症候群からなる群から選ばれることを特徴とする請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項15】

欠神発作が定型欠神発作であることを特徴とする請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項16】

欠神発作が非定型欠神発作であることを特徴とする請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項17】

哺乳動物投与用に製造されることを特徴とする請求項10～16のいずれか1項に記載の医薬組成物。

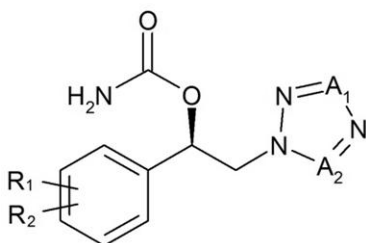
【請求項18】

式(1)のカルバメート化合物の治療有効量が、遊離形で1日1回の投与に基づいて、50mg～500mgであることを特徴とする請求項10～16のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項19】

欠神発作又は欠神発作を示すてんかんの予防、軽減又は治療のための医薬を製造するための、下記式(1)

【化5】



(1)

(式中、 R_1 及び R_2 が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン、 $C_1 - C_8$ アルキル、ハロ $C_1 - C_8$ アルキル、 $C_1 - C_8$ チオアルコキシ及び $C_1 - C_8$ アルコキシからなる群から選ばれ、 A_1 及び A_2 の一方はCHであり、他方はNである。)で示されるカルバメート化合物、又はその薬学的に許容される塩、溶媒和物若しくは水和物の使用。

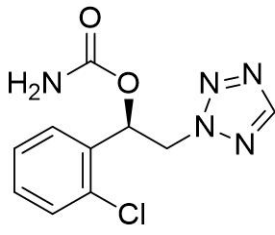
【請求項20】

R_1 及び R_2 が、それぞれ独立して、水素、ハロゲン及び $C_1 - C_8$ アルキルからなる群から選ばれることを特徴とする請求項19に記載の使用。

【請求項21】

式(1)のカルバメート化合物が、下記式(2)

【化6】



で示されるカルバミン酸(R)-1-(2-クロロフェニル)-2-テトラゾール-2-イル)エチルエステルであることを特徴とする請求項19に記載の使用。

【請求項22】

欠神発作又は欠神発作を示すてんかんを患っている対象が、脳波記録(EEG)において、棘・徐波発射(SWD)を示すことを特徴とする請求項19に記載の使用。

【請求項23】

欠神発作を示すてんかんが、小児欠神てんかん、ミオクロニー欠神てんかん、若年性欠神てんかん、若年性ミオクローヌステんかん、ジーボンス症候群(欠神を伴う眼瞼ミオクロニー)、ファントム欠神を伴う遺伝性全般てんかん、及びレノックス・ガストー症候群からなる群から選ばれることを特徴とする請求項19に記載の使用。

【請求項24】

欠神発作が定型欠神発作であることを特徴とする請求項19に記載の使用。

【請求項25】

欠神発作が非定型欠神発作であることを特徴とする請求項19に記載の使用。

【請求項26】

医薬が哺乳動物投与用であることを特徴とする請求項19～25のいずれか1項に記載の使用。

【請求項27】

式(1)のカルバメート化合物の治療有効量が、遊離形で1日1回の投与に基づいて、50mg～500mgであることを特徴とする請求項19～25のいずれか1項に記載の使用。